

時間割コード	G2B68101	開講年度	2026			
授業題目	環境マインド実践ゼミ				担当教員	高木 文子
英文授業名	Eco-Mind Seminar (): Experienced-Based Training for Environmental Competence					浅野 郁・矢原 ひかり
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	大学D P 的確に情報を収集し、理解し、発信する力					・環境問題に取り組む地域の人々の環境への思いに接し、自分事として捉えて自らの考えを発信できるようになる。 ・長野県内の環境の課題の現状や具体的な取組事例を理解し、行動すべき内容を自分の関心や専門分野と結びつけて説明することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース					
(4)授業の概要	本授業は全学横断特別教育プログラム「環境マインド実践人材養成コース」の専用科目です。同コースに本登録した2年次の学生のみが受講できます。 事前学習（1泊2日の現地調査含むことを予定）と2泊3日の集中演習（合宿形式）を行います。また、松本キャンパスで毎月事前学習会を行います。事前学習では、訪問予定の中部山岳国立公園（乗鞍高原）が抱える様々な課題について学び、活動を考え、実際に自分たちで企画運営に携わります。集中演習では、事前勉強会等で実施したことをお互いに情報共有し、議論を深め、さらなる活動の発展のための具体的な新しい活動を提案としてまとめます。その結果は、班で取りまとめ、地域の方々に向けて発表するとともに、HPで公表をしていきます。					
(5)授業のキーワード	SDGs、持続可能な発展、循環型社会、生物多様性、生態系サービス、地域循環共生圏、カーボンニュートラル、ゼロカーボンパーク、環境教育、エコツーリズム、信州、自然環境、環境マインド、グループワーク、フィールドワーク、コミュニケーション					
(6)授業計画	事前学習会は原則として毎月第3土曜日午後の13:00～16:00に松本キャンパスで開催します。（8月は一斉休業のため第4土曜日） 4月18日（土）13:00～16:00 顔合わせ、ガイダンス、講演等 5月9日（土）～10日（日） 乗鞍高原イベント運営補助体験＋現地調査 詳細は決まり次第案内します。 6月20日（土）13:00～16:00 グループワーク（事前調査・活動計画作成） 7月18日（土）13:00～16:00 グループワーク（進捗報告等） 8月22日（土）13:00～16:00 グループワーク（進捗報告等） 9月後半 2泊3日 乗鞍高原における調査活動説明・意見交換、提案発表 詳細は決まり次第案内します。 日程・内容は変更になることがあります。 演習終了後、発表資料を完成させるとともに、最終レポートを作成して提出します。					
(7)成績評価の方法	評価項目は以下の3点です。 （1）事前学習会における参加態度、活動状況（40％） （2）合宿演習での発表資料作成・発表（30％） （3）最終レポート（30％） これらの評価点の合計で評価します。					
(8)成績評価の基準	発表及びレポートの評価は、 （ ）地域課題を適切に把握しているか （ ）社会的動向を適切に把握しているか （ ）問題解決に向けて様々な角度から検討しているか （ ）自分たちの考を適切に表現しているか （ ）教員を感心させるレベルにあるか という観点から評価します。（ ）から（ ）の5項目を満たせば「卓越している」、4項目を満たせば「かなり上にある」、3項目であれば「やや上にある」、2項目であれば「水準にある」とします。					
(9)事前事後学習の内容	本授業のねらいを達成するためには、能動的な調査学習が不可欠です。インターネットのみならず、文献、行政資料、新聞、学術誌など様々な媒体を使った調査から、正確な引用や出典明記等による情報の正確性を意識した調査学習を身につけます。また、対象とする課題の関係者（自治体や民間団体等）に対するコンタクトと聞き取り（メールや電話ヒアリング等を含む）や、自分たちで現地見学を行う等の積極性を期待します。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(10)履修上の注意	この授業は、全学横断特別教育プログラム 環境マインド実践人材養成コースに所属する2年生専用科目となります。 コース生以外は、履修登録する事ができないので注意してください。 合宿等にかかる宿泊費、食費等（演習合宿は約2万円）は自己負担です。合宿先への往復には大学がバ					

(10)履修上の注意	スを用意します。 現地調査の交通費の一部は大学負担予定ですが、宿泊費は決まり次第案内します（現在調整中）。 【注意】この科目は卒業単位には算入されない授業です。
(11)質問,相談への対応	共通教育センター第一講義棟の南校舎3階の高木研究室まで訪ねてください。またメールも受け付けます。不在の場合もあるので、訪問の際は事前アポイントをお願いします。 メールアドレスは、takeko_t@（アットマーク以下は大学で付与されるメールアドレスと同じ）です。
(12)授業への出席	実地研修に参加するにあたって、事前の準備は不可欠です。 すべての勉強会に参加しなければなりません。 原則、勉強会は松本キャンパスにおいて対面で実施しますが、諸事情に応じてオンライン参加を認めます。 なお、専門課程における集中講義等と重なる場合には、余裕をもって担当教員に申し出て、指示を受けるようにして下さい。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	勉強会（オンラインを含む）に出席できない者は、必ずオンデマンドで視聴して下さい。また、勉強会ではグループワークを取り入れます。グループメンバーとは事前事後に連絡を取って、情報をしっかり共有しながら、他のメンバーに迷惑をかけないように取り組んでください。
【教科書】	なし
【参考書】	必要に応じて紹介します。